



今回は、「充電式電池」のお話です。

リチウム電池は、小型で軽量、エネルギー効率がよく、経済性に優れていることから、モバイルバッテリー、加熱式たばこ、コードレス掃除機、スマートフォンをはじめとするさまざまな身の回りの製品に使用され、私たちの生活を支えています。

しかしながら、便利な一方で、強い圧力や衝撃が加わると発火する可能性があります。誤った分別区分で廃棄されたリチウム電池が、ごみ収集車やごみ処理施設の破砕機などで衝撃が加わった際に出火し、火災事故となった例が報告されています。

一般ごみとの混入を防ぎ、リサイクルを推進するため、役場生活環境課窓口にて、充電式電池の回収を行っています。安全に利用するとともに、適正に処理しましょう。

【ここに注目】

- 安全に扱うための注意点
- 強い衝撃や圧力を加えない
- 高温になる場所では使用・保管しない
- 充電は安全な場所で行う
- 異常を感じたら使用を中止する
- 製品情報、リコール情報を予め確認する

【関連 URL】

『リチウムイオン電池の適切なリサイクルについて』
 経済産業省
https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/resource_circulation/designated_recycled_products_wg/pdf/001_04_01.pdf
 『リチウムイオン電池使用製品による発火事故に注意しましょう 身に着ける、持ち歩く製品にも使用されています』
 消費者庁
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_083/

地域おこし協力隊通信

空き家コーディネーター空き家相談会を開催しました

1月29日、利根町役場5-A会議室にて、第2回空き家相談会を開催しました。昨年に続いての開催になり、空き家の所有者の方、今後、空き家になり得る可能性のある家をお持ちの方などの今後の活用などについて、お話をさせていただきました。今後も定期開催を目指して、皆様のお力になれるように頑張っていきたいと思っております。



藤田隊員

空き家相談会には、空き家を所有されている方に加え、今お住まいのご自宅が、この先空き家になる可能性を危惧されている方もいらっしゃいます。「家は人が住まなくなると傷むのが早い」と言いますが、本当にそのとおりで、昨年調査させていただいた空き家を今年再訪すると、その傷みに驚くことがしばしばあります。

もちろんキレイに管理されている空き家もたくさんあるのですが、相談者さんのお話を伺った中で、外からは分からない屋内の傷みや残置物の処分、また物件そのものの今後について、空き家になる前段階での準備、心構えが必要だと改めて感じました。

「空き家になる準備」と言っても、具体的に何から始めていいのかわからない、古い家でも売ったり貸したり出来るのか、付帯の農地はどうするのか、いざ空き家になった時の管理の仕方など、今回の相談会以外でも随時お話を伺いますので、ご自宅の今後について、気になることはお気軽にご相談ください。

昨年に引き続き、今回、第2回目となる空き家相談会を開催いたしました。前回の相談会では「現存する空き家の処置」に関する内容が中心でしたが、今回は「将来空き家になる可能性がある」という、一歩手前の段階でのご相談が大半を占めました。町民の皆さまの間で、空き家リスクに対する意識が高まっていることを強く実感しております。

相続、売却、贈与など、選択肢が多岐にわたるからこそ、早い段階から「何が最善か」を検討しておくことが不可欠です。

私自身、建築・不動産業に携わってきた経験を活かし、相談者の皆さまと共に最善策を模索する貴重な機会となりました。今後は随時相談を受け付ける体制を整えるとともに、相談会の定期開催を目指し、より一層尽力してまいります。



安藤隊員

認知症地域支援推進員のつぶやき No.92 日頃の気づきを大切に

日常生活の中で、自身や家族に対して「おやっ？」と感じたことはありますか？以前と比べて、物の置き忘れが多くなったり、人の名前が出てこなくなるなど、日常生活の小さな気づきはとても大事です。それは、「歳のせいだから仕方がない」ことでしょうか。その小さな「気づき」が、新しいことに取り組むチャンスです。

私が教室などで出会う方々は、人生を豊かに過ごすために意識してさまざまな活動をしています。お話を伺うと、「お友達と旅行に行きたい」「おいしいものを食べたい」など、楽しく毎日を送り続けるために、積極的に外へ出て活動しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、今まで楽しんでいた趣味をやめてしまったり、お友達付き合いが減り、人と会う機会が少なくなりました。「もの忘れ予防」には、社会的活動が大きく影響します。人とコミュニケーションをとることは、脳を活性化させます。人と繋がる活動を意識して、生活の中に取り入れることは、自然ともの忘れ予防になります。

介護予防教室で出会ったある方は、教室に参加したことで、「勇気をもって一歩踏み出せたおかげで、生活が変わりました」と表情明るくお話ししてくださいました。新しいことを始めることは、勇気とエネルギーが必要ですが、その一歩が大きな一歩です。運動や趣味の活動など、自分が無理なくできることかまいません。町でも、さまざまな介護予防教室を行っています。「何か仲間とやってみたい」という気持ちがあれば、お気軽にお問い合わせください。思い立ったら吉日！一歩踏み出してみましょう！

私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 利根町地域包括支援センター ☎68-2211
- 利根町保健福祉センター ☎68-8291
- 複合福祉施設 響 ☎61-8500
- 介護老人保健施設 もえぎ野 ☎84-6081

隊員からのお知らせ

「武術太極拳・カンフー 体験教室」開催

昨年に引き続き、元日本代表としてご活躍された藤沢氏を講師に迎えて開催いたします。ジュニア（小・中学生）を対象とした体験教室となります。めったに体験できないスポーツ種目です。ぜひご参加ください！

日時・場所：6月7日（日）午前9時30分～正午 利根小学校体育館

対象・定員：町内外の小・中学生（30名）

参加費・持ち物：無料、屋内用シューズ、飲み物、タオル

応募方法：右記の申し込みフォーム（二次元コード、もしくはURL）からご応募ください

申し込み期限：6月5日（金）

URL：<https://forms.gle/GKPFT9qx5RCgQ61M9>

問い合わせ：地域おこし協力隊・稲垣 ☎090-3646-1710



スポーツ指導者募集

地域クラブ活動「すぼかるとね」事務局では、さらなる内容の充実に向けて、引き続き指導者を募っております。スポーツ指導歴がある方や、お知り合いにスポーツ指導が可能な方がいらっしゃいましたら、役場生涯学習課までご紹介ください。

【問い合わせ】
 生涯学習課 社会教育係
 ☎68-2211（内線423）